

第13回

「今に伝わるむかしみち」

平成21年（2009）

多摩の古い地図には、今と全く異なる地域の景観が読みとれます。こうした社会の激変の中で現在まで生き残る「むかしみち」があります。本講座では、そうした「むかしみち」を、古地図から現代の衛星写真地図なども使い、地理学・地図学・測量学などの側面から解説しました。第4講では伊能忠敬測量隊が測量した道を測量日記をもとに実踏し、当時の測量について考えました。

□第1講	9月25日(金)	地図にみられる道、社会、その表現 講師 清水靖夫（日本国際地図学会）	32
□第2講	10月9日(金)	三千分の一『多摩地形図』にみる道と近代化 講師 芳賀 啓（「之潮」代表）	34
□第3講	10月23日(金)	戦前戦後の民間地図にみられる道と時代背景 講師 今尾恵介（日本国際地図学会）	36
□第4講	11月6日(金)	見学会 伊能忠敬測量隊の道を歩く 講師 伊能忠敬研究会	38
□第5講	11月20日(金)	伊能忠敬測量隊の多摩測量行 講師 星埜由尚（伊能忠敬研究会代表理事、元国土地理院院長）	40

定員 120名

場所 国分寺労政会館（第4講は見学会、高幡不動から聖蹟桜ヶ丘）



八王子市街図（昭和10年、今尾恵介氏所蔵）

第1講 地図にみられる道、社会、その表現

清水 靖夫（日本国際地図学会）

1. 地図の目的と内容

何がどこにあるか、そこへ行く道は？
記されているもので時代を考えることが出来る。

2. 地図の縮尺と内容

- ・縮尺の大小は分数の大小と同じ
…5万分の1 > 20万分の1
- ・縮尺は長さである
- ・大縮尺の地図
…農耕地や近所の地図
- ・小縮尺の地図
…国全体や地方の地図
- ・地図は絵である。縮尺によって描ける範囲が違う。縮尺の小さい地図では省略することで分かりやすくする。

3. 地図（地形図）の道路記号の変遷

- ・地図の中は「地図語」で書かれている。万国共通。道路は筋、鉄道も筋。筋でどちらを太くするか。アメリカは自動車交通が主体なので道路を太く、鉄道は細い線で描かれている。
- ・地図の記号…「地図語」の中の単語
- ・地図の使い方は文法…地形図図式
- ・地図の記号には表現するそのときそのときに、地表と人間との関わり、自然環境、時代的な変化が記されている。

○仮製二万分一地形図記号（通称明治十八年式）

- ・天然石を敷いた道：道の整備を読みとれる。
- ・道路下水樋：明治18年五千分の一には全部入っている。
- ・道の管理者が表現されている…国道、県道、里道、村道
- ・騎小径、徒小径…馬で通れる道、歩かなければならない道が区別されていた。

○二万分一地形図図式（明治二十四年所定）

- ・道の広さの表記…どの程度のものが通れるかがよみとれる。道は有効な幅で描かれる。

○大正六年地形図図式

- ・戦前の図式の到達点。もっとも洗練された図式。国道・県道・里道など道の管理者で分けずに、道幅で表現した。

○大正六年制定同十四年加除訂正 地形図図式

- ・道幅を尺貫法でなくメートルで表すようになった。

○昭和十七年制定地形図基本図式

- ・舗装道路限界…舗装道路を表す記号が初めて生まれる。

○昭和三十年制定同三十五年加除訂正地形図図式

4. 地図上での具体例

路道		道路記号の変遷
	道國	
	道縣	
	道里	
	道村	
	道野村	
	極小橋	
	極小徒	
	道石敷	
	道礫敷	
	道ルケ敷ヲ石然天	
	道堤	
	道瓦不	
	道古	
	道明不	
	中築建	
	線電及附行	
	傍行ノ上路道	
	橋水ノ路道	
	部分支及部又交	
	面斜小及部凸凹	
	上水及下地	
	路橋及路廢盤	

明治十八年地形図図式

路道	
	道國
	モスニ及縣ノ標準之道
	上以半間一幅道
	上以間一幅道
	上以間半幅道
	溝未間半幅道
	溝未間一 上以間一 上以間二
	サノ道廣路 (部弓)
	ルセラ荷部ヲ通車
	部中建ノ路
	部ヲ分ルヲ明
	木並
	線電
	道索空架
	複部スヲ撰特ル有道種
	部會交
	部築部墾堆及開
	穹ノ部墾陸部地岩頭及下ノ
	道及ノ水橋部上

大正六年地形図図式

平成21年10月9日 午後1時30分～3時30分

第2講 三千分の一『多摩地形図』にみる道と近代化

芳賀 啓（「之潮」代表）

*はじめに

*みちについて

・みち

みちの誕生、みちの本質、みちの類別、
La Strada

・むかしみち

けものみち・えものみち、はじめのみち、
縦の道、横の道、地形道、非地形道

*近代化について

・近代化

明るくすること、乾かすこと、直線（曲
線）化すること、五感環境の変容、現代化

*多摩と武蔵野

・武蔵野ネイティブ

・江戸っ子と多摩っ子

・多摩の「大東亜戦争」

・多摩の近代化

*地図について

・地図

・地形図

高いところ・ひらけたところ

低いところ・閉じられたところ

・多摩の昔を記録した主な地形図・地図

村絵図、国絵図、地籍図、輯成二十万
分一図、迅速測図、正式二万分一地形図、
五万分一地形図、二万五千分一地形図、
三千分一地形図（戦時期『多摩地形図』）、
東京都三千分一地形図（東京都）、2500分
の1 東京都地形図、10000分1 地形図（国
土地理院）

*『多摩地形図』（2004年発行、之潮）にみる、
むかしみちといまみち

・まずは国分寺

[国分寺（東部）58] どれが「むかしみ
ち」か？ 国分寺地形図トリップ偽装
「古地図」

[戸田新田 55] 地形、みち・みずみち、
新田開発と飢餓

・崖と坂

[中仙川 20] 滝坂 旧甲州街道のおも
かげ

[小金井 37] 質屋坂 国分寺崖線とハ
ケの道、浸食支谷、ジグザグ坂

・鎌倉街道をたどる

[府中西南部 60] 「府中」からはじまる、
大國魂神社と武蔵国府、分倍河原古戦
場、市川坂 = 光明院坂、下川原緑道、
府中崖線

[中川原 59] 新道、旧道、古道、水田
多摩川低地、用水

- [関戸 62] 関戸橋 関戸渡、制水（水制）
土手、斜面 コンクリート壁、桑畑
荒地
- [小野路 108] 小野郷、宿駅と水路、谷
地田（沢田）、小田原道、相模道、大山
道、小野路川、万松寺
- [今井 109] 七国山、古道、鎌倉街道の
碑、谷道、尾根道、今井谷戸、小径（1
m未満）、里道（1m-）、里道（3m）
- [金井 67] 凹部、切通し、薬師池（薬
王寺池）、尾根道、谷道、谷地田

- [一色 112] 盛土道、切通し、独立樹、塔、
宿
- [本町田 70] 古集落（→秣場として使
用）、谷戸田 水車、宿、一色（普通名
詞として）、玉川学園
- [南大谷 73] 鶴川街道、台地と窪地、
恩田川、水車、耕地整理と都市開発、
町田高等女学校
- [森野 115] 旭町交差点、向上と寄宿
舎・住宅

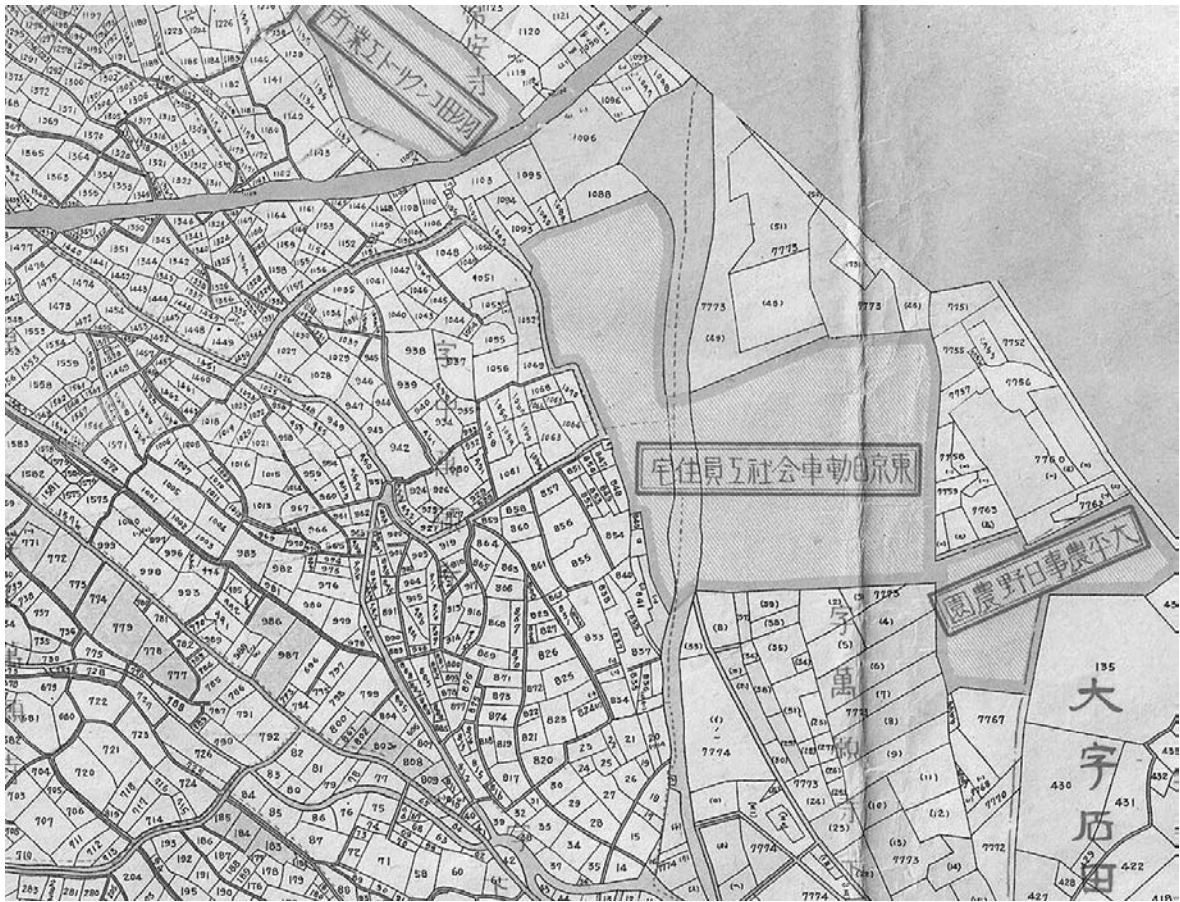


多摩地形図「国分寺」

第3講 戦前戦後の民間地図にみられる道と時代背景

今尾 恵介（日本国際地図学会）

- 江戸時代の道中図（新板東海道分間絵図 宝暦2年・1752年）
- 品川宿明細図（江戸期）
- 字限図に描かれた「赤道」（地租改正地引絵図（明治初期・場所は不明）
測量は不正確。古い小字などの地名が図上に残る。
- 字限図を編集した「土地宝典」（昭和38年・日野市豊田）
字限図を編集したもの。字の境界はほとんどが道。不正確な測量のため、どうしても接合しない部分に切り離れた表現がある。
- 村全体の字分布を記載した地図（霞村＝現青梅市東部）
- 日野町全図（昭和15年）
ゆがんだ甲州街道。不正確な測量のためにつながらない地番のいびつな形を水路や道路で帳尻を合わせた。
- 学校地図帳における道路表現
 - ・富山房「新日本地図」（昭和13年）
当時の交通の主役であった鉄道交通が主に表現されている。蒸気機関車の走る路線と電気鉄道の路線を区別。
 - ・東京拡大図175,000分の1
 - ・現代の学校地図帳
- 吉田初三郎の鳥瞰図における道路
「京王電車沿線名所図絵」昭和6年
大正の広重といわれる吉田初三郎。鳥瞰図も立派な地図である。初三郎の地図には必要なものは描くが不要なものは描かないという明確な意志があり。クライアントの鉄道会社は大きく描き、ライバル社は完全に無視する。
- 戦前の観光地図（「大東京近郊地図」龍王堂 昭和5年）
- 現代の市街地図（「リンクルミリオン・多摩」東京地図出版2006年）
- 日野市街地図（昭和40年頃）
いまはなくなったバス路線の表記。バス路線はなにがしかのメインロードである。バス停は昭和40年代ころまでは人の集まる場所であった。今も現地に残る店が、昔のバス停の存在を物語る。
- 稲城町全図（昭文社 昭和43年）
- 八王子市街図（文華堂 昭和10年）
- 武蔵野市街図（昭和25年 光陽館書店）
- 実測立川町全図（1：6,000 昭和5年 田宮測量社）



日野町全図（昭和15年）



吉田初三郎の鳥瞰図「京王電車沿線名所図絵」昭和6年

平成21年11月6日 午後1時～4時30分

第4講 見学会 伊能忠敬測量隊の道歩く

伊能忠敬研究会

京王線高幡不動駅 ⇒北野街道 ⇒武蔵一之宮小野神社 ⇒京王線聖蹟桜ヶ丘駅
(約4km)

第13回



伊能図を貼り付けた現在の地形図 (東京カートグラフィック(株)作成)



見学会のコース (東京カートグラフィック(株)作成)



高幡不動境内



高幡不動の僧侶にお話を伺う



コース途中の石仏



コースと伊能図を対比する



真照寺山門（日野市落川）



小野神社境内

平成21年11月20日 午後1時30分～3時30分

第5講 伊能忠敬測量隊の多摩測量行

星埜 由尚（伊能忠敬研究会代表理事、元国土地理院院長）

伊能忠敬の測量手法

- ・ 導線法
- ・ 交会法
- ・ 横切測量
- ・ 海中測量
- ・ 天文観測

伊能測量のルートと天測地点

伊能図の種類と所在

- ・ 大日本沿海輿地全図と大日本沿海実測録
- ・ 大図（1／36,000）214図幅
- ・ 中図（1／216,000）8図幅
- ・ 小図（1／432,000）3図幅
- ・ 正本はすべて焼失
- ・ 副本、模写本などがある
- ・ 東京国立博物館の中図、小図
- ・ フランス中図、イギリス小図、アメリカ大図
- ・ 国会図書館大図
- ・ 海上保安庁大図
- ・ その他

伊能大図一覧

伊能図の表現

- ・ 測線
- ・ 国名、郡名、町村名、自然地名（河川、湖沼、山岳、島、岬）
- ・ 河川、湖沼、山岳、海岸
- ・ 集落、城、寺社、橋、樹木
- ・ 領主、大名、宿駅、湊
- ・ 天測地点
- ・ 経緯線、方位線（中図、小図）

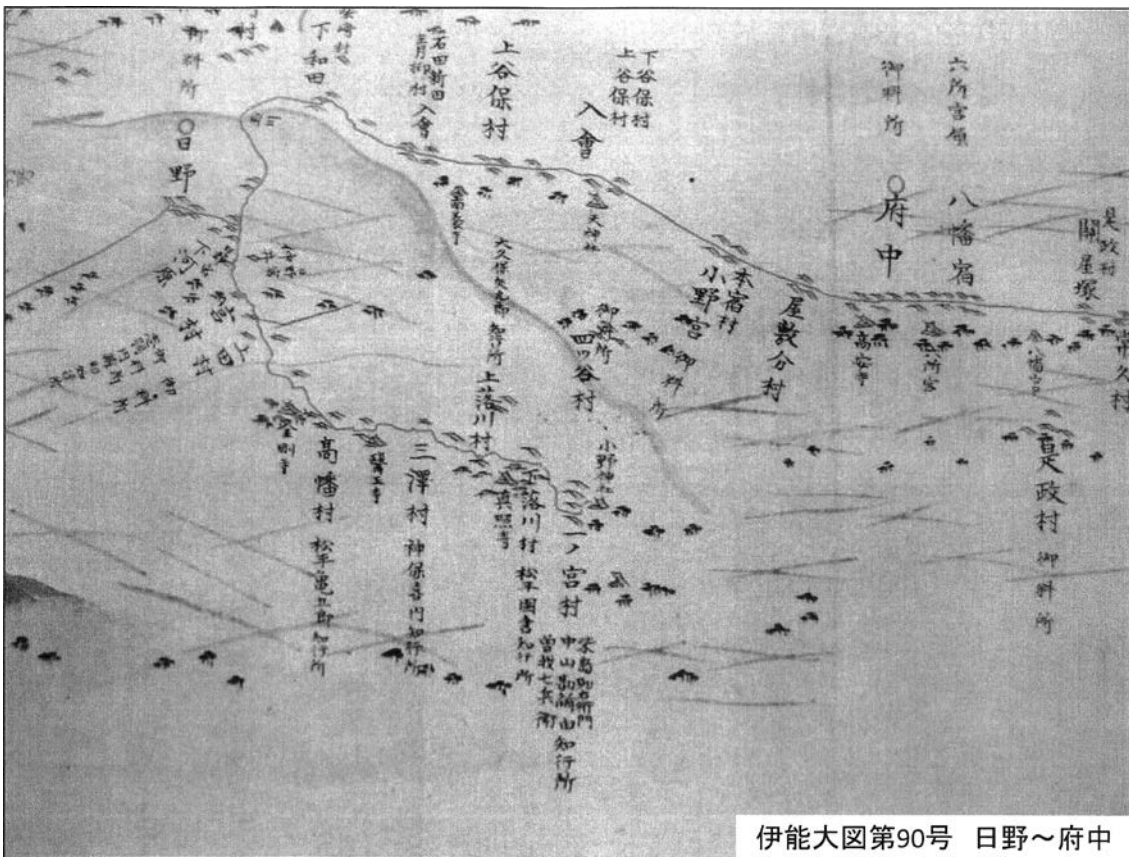
伊能図の価値

- ・ 日本史上初めての科学的実測地図
- ・ 100年間利用され近代地図の嚆矢となった
- ・ 過去の国土を知る地理史料
- ・ 美術品としても鑑賞に耐える
- ・ 高齢化社会の星（人生二山）



伊能大図第90号 八王子拡大図

伊能大図第90号 八王子拡大図（国立国会図書館デジタル貴重書展より）



伊能大図第90号 日野～府中

伊能大図第90号 日野～府中（国立国会図書館デジタル貴重書展より）



新田の短冊型地割 (多摩地形図「戸倉新田」)